

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

■ 事業報告

1 全事業共通

地域の現状と課題について

舞岡連合会と柏尾連合町内会のそれぞれ全域を担当しています。舞岡連合会のエリアは、区内でも有数の高齢化率が高い地域を含みますが、インフォーマルサービスとしての地域住民同士の支え合いは盛んであり、柏尾連合町内会のエリアは、要介護認定率が低く、介護予防に資する地域活動が活発です。それぞれの地域に合った「そのまちらしい地域包括ケアシステム」の構築について、可能性を秘めていると考えます。

一方で、担い手の固定化や高齢化といった課題もあり、次世代の育成や組織の活性化について、地域の皆様と検討を重ねる機会も増えてきました。「地域ケア会議」や「とつかハートプラン（地域福祉保健計画）地区別計画」「運営協議会」等の既存の会議を活用しながら、地域の各団体や行政、区社協などとも連携を深めています。ケアプラザとしては、担い手の発掘（「シニアボランティア講座」や「男の教室」「ボランティア入門講座」など）やすでに活動しているインフォーマルサービスの後方支援（「プチボランティア」や「元気づくりステーション」「サロン柏舞」など）に力を入れてきました。また、通所介護や居宅介護支援といった介護保険事業も「地域包括ケアシステム」の一翼を担う存在であることを意識してサービス提供や地域貢献を行っています。

担当圏域の中で、バスを乗り継がないとケアプラザに来られない地域（上柏尾や南舞岡）へは、高齢化が進んでいることもあり、町内会館等をお借りして出張事業も増やしています。

小学校や中学校との連携も進めており（人権教育や職業体験への協力など）、今後も多世代が交流できる拠点として、地域ケアプラザを活用していただけるように努めていきます。

(1) 相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

- 1 地域包括支援センターを「福祉総合相談窓口まいか」と称し、様々な方に気軽に相談していただける配慮をしました。相談室がよりリラックスした雰囲気になるように、地域の方からご寄附いただいた絵画を飾りました。
- 2 高齢者に限らず、子育てや障害に関する相談も受け付け、行政や専門機関につなげました。
- 3 個別ケースや地域ケア会議等を通じて、行政やサービス事業所、医療機関、地域のインフォーマルサービス等との連携を深めました。
- 4 担当者が不在のときでも、他部門の職員が丁寧に対応しました。メモ等を残し、引継ぎも丁寧に行いました。

(2) 各事業の連携

地域活動交流、地域包括支援センター、生活支援体制整備の各職員は、毎月「5 職種会議」を開催し、地域の状況や課題を共有し、地域支援の方法などを検討しました。また通所介護や居宅介護支援についても「地域包括ケアシステム」の一翼を担う立場であり、地域の現状を把握し、委託事業部門及び地域の各種団体等と連携して「このまちに必要な専門的で質の高いサービス」を提供しました。

「チームまいかし」として、各事業（委託部門・介護保険事業とも）が連携して「ケアプラザまつり」や「ボランティア交流会」を開催するとともに、地域で行われる連合町内会事業や夏祭りなどにも積極的に参加して「このまちの一員」として行動しました。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

福祉の専門職としての能力を高めるために、法人内の研修センターでは職種、階層、入社年数、職制等を考慮した研修を体系的に行いました。また、介護福祉士、介護支援専門員、社会福祉士等の資格取得の勧奨・費用負担助成なども法人として取り組んでいます。また、現場のOJTについても年間計画に基づき常勤・非常勤を問わずスキルアップできる体制を整えました。

公正中立の確保に関しては、偏りのない情報提供を行い、お客様が主体的に事業所を選択できるように支援しました。また疑義が持たれないように数値（紹介率等）やお客様による事業所選択理由などを記録に残しました（法人独自の取組として、地域包括支援センターでは「居宅介護支援事業所新規依頼表」に事業所選定に用いたツールや選定理由を記録しています）。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- 1 連合町内会や地区社協、民児協などの定例会に参加し、情報の提供と収集、共有に努めました。
- 2 今年度もエリア内のお祭り、敬老会、運動会、餅つき、防災訓練等のイベントに参加しました。
- 3 「地域ケア会議」や「とつかハートプラン（地域福祉保健計画）」推進などを通して、地域が主体となった「地域包括ケアシステム」の構築を支援しました。
- 4 「ケアプラザまつり」や「ボランティア交流会」等を通して、地域の様々な世代や団体との交流を深めました。
- 5 小中学生の職業体験の受入や、学校に出張しての「人権教育」など、エリア内の教育機関との連携を進めました（舞岡小学校での人権教室、舞岡中学校での職業講話、職場体験受入等）。また既存の自主事業に小学生に参加してらうなど、より深い関係性作りに努めました（地域の障害者作業所と共催の「革細工教室」への小学生参加等）。
- 6 地域の皆様の障害者理解を促進するため、地域の障害者施設との交流会を継続しました。また主任児童委員と共催で障害者理解の普及啓発講演会「舞クラス」を開催しました。
- 7 生活支援体制整備の推進のため、地域の各種団体や行政の「地域支援チーム」等との意見交換や具体的な検討を行いました（柏尾・舞岡それぞれの地域支援チーム等）。

(5) 区行政との協働

- 1 毎月1回行っている「地域包括支援センターカンファレンス」や「各種専門職会議」等を通して、情報の共有や支援方法の検討を行いました。
- 2 「とつかハートプラン（地域福祉保健計画）」推進を中心に、「地域支援チーム」と協働して地域に根差したプランとなるように支援しました。
- 3 ケアプラザの運営に関して、日常的に関係部署（福祉保健課、高齢・障害支援課等）と連絡や相談を密に行い、適切な業務遂行に努めました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- 1 事業ごとに実施したアンケート結果や地域行事参加者・地域の活動者などから得た情報をもとに事業計画を策定しました。部門ごとの事業に加えて、世代を超えて参加できる事業を積極的に実施しました。
- 2 講座やイベントの実施にあたり、貸館利用団体へ協力を仰ぎ、講座や見守りボランティアとして活躍していただきました。
- 3 生活支援コーディネーターと共催で「男の教室」を実施し、定年後の男性が地域で活躍するきっかけづくりを行いました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- 1 活動拠点を探している団体への情報提供を行いました。地域の会議等でもPRを行いました。
- 2 「ケアプラザまつり」や「施設交流会」に加え、「ボランティア交流会」にも地域の各施設、各団体をお呼びして施設間協働の推進を図りました。※今年度より「ボランティア交流会」に他の福祉施設の職員とその施設で活躍されているボランティアにも参加していただき、このまちを支えるボランティア同士のネットワーク作りを始めました。
- 3 講座を企画する段階から、貸館利用団体の方と協働して講座の組み立てを行いました。また日ごろから、ケアプラザを利用されている方の得意なことを伺い、事業計画に反映しました（各種アンケートの実施や貸室団体交流会の開催など）。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- 1 ご希望を伺い、それに沿ったボランティア活動の提案に努めました。ボランティア活動後も引き続きお電話等で感想を伺ったり、情報提供を行ったりしました。
 - 2 生活支援コーディネーターと共催で「男の教室」を実施し、定年後の男性が地域で活躍するきっかけづくりを行いました。
 - 3 「ボランティア交流会」を実施し、ケアプラザ内外で活躍されている団体や個人をお呼びして、交流やグループワークを行いました。
 - 4 デイサービスでのボランティア希望者の曜日や内容の調整を行いました。支援を必要とする世帯へのプチボランティアの派遣について、代表者やメンバーと連携してコーディネートを行いました。
- ※「男の教室」参加者のうち数名が「プチボランティア」のメンバーとして活躍始めました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

1 情報収集

- (1) 各職種の専門職会議や行政、社協主催の研修などに参加し、最新の情報を収集しました。
- (2) 各地域の関係機関の会合や各団体のイベント、サロン等に参加し、エリア内の生の情報を集めました。
- (3) 各職種と連携し、横浜市の統計ポータルサイトや区役所が提供している客観的なデータの収集を行いました。

2 情報提供

- (1) 法人で作成している「地域アセスメントシート」やケアプラザ独自で分析した情報のうち、地域の皆様と共有すべきデータ等は「地域ケア会議」や「とつかハートプラン（地域福祉保健計画）推進委員会」「運営協議会」等で紹介しました。
- (2) ホームページや「広報誌まいか」等の内容を充実させ、多世代に向けた情報発信を行いました。ホームページについては、更新頻度を増やしたり、写真掲載を多くしたりしてより分かりやすく工夫しました。

※1階エレベーター横に「ふれあいギャラリー」と「ふれあい伝言板」を設置し、地域活動されているグループ、個人の情報発信の場としてお使いいただいています。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

地域包括支援センター、地域活動交流と常に連携し、地域の課題や「強み」の把握に努めました。「このまちらしい地域ケアシステム」の構築に向けて、既存の団体・組織や行政・第1層生活支援コーディネーターとともにインフォーマルサービスの創設や支援などを目指して、生活支援・介護予防の充実を図りました。

平成30年度は、地域交流と協働して小学生への人権教室に協力したり、「男の教室」を開催するなど、世代を超えた担い手づくりに力を入れました。

サービスBの立ち上げ等には至っていませんが、柏尾地区舞岡地区とともに地域活動は盛んであり、インフォーマルサービスへの支援は引き続き行っていきます。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- 1 各地域の町内会、民児協、地区社協等の会議や、地域のイベント等へ参加し、課題やニーズの把握に努めました。
- 2 「とつかハートプラン（地域福祉保健計画）推進委員会」「地域ケア会議」等を通して地域の皆様と情報の共有を行いました。
- 3 法人独自の「地域アセスメントシート」に上記の会合等で出た意見やニーズを落とし込むとともに、地域包括支援センターで受け付けた総合相談の傾向（数値化）や行政等から提供されるデータも参考にしながら、分析をすすめ、運営協議会等で地域の方と共有しました。
- 4 エリア内の要支援者（サービス利用者）の推移や状況変化などの経過を計測するとともに、ニーズの分析を行いました。
- 5 地域包括支援センターや地域交流の自主事業参加者へのアンケート結果なども5職種会議等で共有しました。

(3) 連携・協議の場

柏尾連合町内会・舞岡連合会それぞれで、連携・協議の場を設けました。平成30年度は、それぞれの地域の皆様と相談しながら、「とつかハートプラン（地域福祉保健計画）推進委員会」や「地域ケア会議」等の場を活用させていただきました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

第1層生活支援コーディネーター、戸塚区役所等と連携し、区レベル地域ケア会議や「とつかハートプラン（地域福祉保健計画）」ともリンクさせながら検討しました。※「とつかハートプラン（地域福祉保健計画）区計画」とケアプラザ事業や地域の状況をリンクさせて振り返る作業も行え、次年度計画に反映させました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

- 1 区役所と行う地域包括支援センターカンファレンスや所内の5職種会議、ケアマネサロン、居宅介護支援事業所連絡会等を通して、支援者間のネットワーク強化を図りました。
- 2 地域ケア会議を計画的に開催し、「とつかハートプラン（地域福祉保健計画）」や生活支援体制整備（協議体）等と関連付けながら、地域のネットワーク構築、強化に努めました。※地域ケア会議に「みまもりネット協力事業者」や警察、商店などにも参加を呼びかけ、新たなネットワーク作りをすすめました。
- 3 各地域の団体（自治会町内会・民児協・地区社協等）の会合に出席し、地域の状況やニーズの把握に努めました。
- 4 地域のワーカーズコレクティブとともに立ち上げたサロン「かりんの木の下で」、地域の皆様や事業所と協力して柏尾町で開催することとなった「サロン柏舞」、南舞岡地区の町内会館をお借りしての出張事業等、地域の多様な団体と協働しました。

②実態把握

- 1 相談をエリアごと（町内ごと）に集計、分析してエリア内の相談傾向の把握に努めました。
- 2 生活支援コーディネーターと連携して、連合町内会ごとに高齢化率・介護保険認定者数・サービス事業所の状況等を整理し、地域特性・課題・対策を「地域アセスメントシート」にまとめました。
- 3 地域と協働できる関係を深めるために、各種会合（連合町内会、民児協、地区社協、老人会等）に定期的に参加し、速やかな情報収集と地域の実態把握に努めました。

③総合相談支援

- 1 地域の方々の相談に対し、ご本人の意向をしっかりと捉え、ご家族の状況や地域との関係などご本人を取り巻く環境にも配慮した対応をしました。
- 2 地域の方々の多岐にわたる相談に対し、専門職として最新の知識や情報を提供しました。フォーマルのみならずインフォーマルサービスについても積極的に情報提供しました。
- 3 高齢化が進み、ケアプラザへのアクセスが良くない地域（上柏尾・南舞岡等）については、地域の食事会やサロン、老人会等に出向いて相談を受けました。また、ご自宅への訪問も積極的に行いました。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- 1 町内会館や小学校コミュニティハウスへ出向いて老後の資金や消費者被害、生前整理に関する講座を開催しました。また、老人会に出向いて任意後見制度や家族信託の講座を開催しました。
- 2 戸塚区サポートネットにおいて専門職（弁護士、司法書士、行政書士等）との連携を深め、権利擁護が絡む事例について相談しました。
- 3 定期的にケアプラザ内で行っている「エンジョイまいか塾」でも権利擁護に関するテーマを扱い（遺言と家族信託について）、地域や関係機関の皆様理解を深めていただく機会を作りました。

②高齢者虐待への対応

- 1 虐待ケース、虐待が疑われるケースに関しては、行政等と連携し適切に対応しました。
- 2 虐待防止事業研修会に参加し、特に養護者への対応の仕方について学びました。
- 3 介護者支援の取組として、「介護者のつどい」（ふきのとう）を定期開催しました。30年度は新たな取組として、1月に「福祉用具と住宅改修」「アロマでくつろぎのハンドマッサージ体験」講座を開催しました。

③認知症

- 1 平成30年度も、地域で活躍されている認知症キャラバンメイトの方々と連携して、「認知症サポーター養成講座」を開催しました。
- 2 若年層への啓発として、エリア内の小中学生の授業カリキュラム（人権教育や福祉体験等）に協力し、認知症の理解（キッズサポーター養成講座含む）を深めていただきました。
- 3 エリア内の認知症対応型通所介護等のサービス事業所の運営推進会議に参加しました。また地域ケア会議にエリア内の精神科専門医療機関の相談員に参加していただき、適切な支援や認知症になっても住み慣れた自宅で住み続けていける地域づくりについて検討しました。

（3）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 1 ケアマネジャーと民生委員の連携と情報交換の場として、居宅介護支援事業所連絡会を開催しました。地域の司法書士の方を講師に迎え、任意後見についての知識を深めていただき、連携の強化も図りました。
- 2 地域への情報提供の場「エンジョイまいか塾」を定期的開催し、地域の事業所である葬儀社、老人保健施設、シルバー人材センター、ファイナンシャルプランナー、訪問介護ステーションに講師を依頼し、地域の専門家と地域住民のつながりを作りました。

②医療・介護の連携推進支援

- 1 「ほーめっと（戸塚区在宅療養連絡会）」へ協力し、ケアマネジャーの医療に関するスキルアップを図り、医療関係者との関係づくりに努めました。
- 2 戸塚区在宅医療相談室と連携し、区内11地域包括支援センター共催でケアマネジャーのための医療連携研修を開催しました。ケアマネジャー59名と30病院の関係者が参加し、お互いの分野について学び、立場を理解して連携を強化することがで

きました。また「ケアマネジャーのための医療機関総合窓口一覧」の更新を行いました。

- 3 ケアマネサロンの「ほっとサロン」や「地域ケア会議」等に介護・医療関係者の参加を呼びかけ、課題解決や連携強化に努めました。
- 4 エリア内のケアマネジャー向けに特定事業所連絡会と協力し、在宅医による研修を開催しました。

③ケアマネジャー支援

- 1 定期的にケアマネジャーのサロン「ほっとサロン」を開催し、事例検討や情報交換会、インフォーマルサービス情報の提供等を行いました。ケアマネジャーのスキルアップの場とすることができました。
- 2 ケアマネジャーから相談を受けた際は、積極的に同行訪問をし、困難事例については、カンファレンスを行いました。
- 3 区内 11 地域包括支援センター共催で「新任・就労予定ケアマネジャー研修」を行いました。居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャーの協力を得て、初回訪問やサービス担当者会議等の基本について学ぶ機会を持ちました。また、サービス事業所の見学やケアプランの作成について、個別のアドバイスも行いました。
- 4 区内 11 地域包括支援センター共催で、3 月に「居宅介護支援事業所主任ケアマネジャー向け研修」を行いました。主任ケアマネジャーとしての実践力について学んでいただきました。
- 5 エリア内の特定事業所連絡会に協力し、ケアマネジャー向けの医療連携研修を開催しました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- 1 地域包括ケアシステムの構築を推進するため「地域ケア会議」「とつかハートプラン（地域福祉保健計画）」「生活支援体制整備の協議体」等従来からある地域の各種会議と連動性を持たせることができるように、所内 5 職種と地域の関係機関・団体等が共通認識を持って推進しました。
- 2 「地域ケア会議」においては、柏尾地区では地域での認知症の方への理解を深めるために個別の地域ケア会議を続け、認知症サポーター養成講座や認知症予防の講座の継続につなげました。舞岡地区では、引き続きみまもりネットワークの構築に向けてのあり方を地域の方々と検討し、ネットワークを広げていき、2 月に行われたネットワーク訪問事業との共催で、みまもりネット協力事業者を含めた認知症サポーター養成講座の開催につなげました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第 1 号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第 1 号介護予防支援事業）

- 1 日常生活支援総合事業に関する知識と理解を深め、お客様の目線に立って、分かりやすく説明を行いました。
 - 2 ケアマネジャーや他の事業所からの疑問、質問等に適切に対応しました。
 - 3 委託ケースでは、できる限りサービス担当者会議に参加し、状況把握を行って、お客様の主体性や意欲を引き出す支援をケアマネジャーとともに行いました。
 - 4 地域住民の集いや助け合い活動に積極的に参加し、地域住民のニーズを検討し、介護予防のイベント等を地域のインフォーマルサービスとして最大限に活用できるように、「このまちの強み」を活かせるプランを作成しました。
- ※介護予防ケアマネジメントの件数は年々増加していますが、地域の居宅介護支援事業所にもご協力いただきながら対応しました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業
1 「健康づくりまいかし」にて、継続した介護予防体操を行い、仲間づくりやロコモ予防、認知症予防の講座を行いました。
2 認知症サポーター養成講座に連動した介護予防講座「認知症予防コグニサイズ」を柏尾地区と舞岡地区で開催しました。
3 介護予防講座として、園芸療法を取り入れた「初夏の寄せ植え」講座を開催し、介護予防普及啓発活動を行いました。
4 地域で介護予防を推進するために活躍する「体操リーダー養成講座 4回シリーズ」を開催しました。
5 毎月開催する「サロン柏舞」にて、口腔機能向上のために講座を行い、介護予防の普及啓発に努めました。
6 「エンジョイまいか塾」にて、管理栄養士による栄養改善講座、言語聴覚士による口腔機能向上講座を実施し、介護予防に向けた普及啓発を行いました。

5 その他

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について
ケアプラザは、高齢者、障害者、乳幼児等様々な方が利用される施設であるため、安全確保を最優先するとともに、快適に利用していただけるよう、保守点検、清掃、衛生管理に努めました。
開所して18年が経過し、近年経年劣化による修繕も増えてきましたが、迅速に区役所へ相談し、適切に対応しました。
また緑豊かな庭が敷地内にあるため、近隣の方々や放課後の子どもたちが遊びに来るなど、地域に親しまれた施設となっています。この環境を維持するため、定期的な植栽管理を行うとともに、貸室利用団体や有志の皆様のご協力で、年2回の「草とりボランティア」活動を行っていただきました。これにより、地域の皆様にとって、ケアプラザが「自分たちの施設」であるという認識にもつながっています。

(2) 効率的な運営への取組について
労務・経理等の事務処理については、法人本部で一括して行えるものもあり、業務の効率化を図りました。また、建物管理、保守業者の選定にあたっては、経理規程に従い、入札や見積もり合わせ等を適切に行って経費の削減に努めました。その中で、市内の中小企業への優先発注も行っています。

(3) 苦情受付体制について

法人で苦情解決規則・苦情対応マニュアルを作成しており、それに基づいてケアプラザにも苦情解決責任者・苦情受付担当者を配置しています。担当職員が不在の際にも、お客様からのご意見・ご要望、苦情等については、迅速に対応しました。また、公正中立の立場から、あっせん調整を行う第三者委員も設置し、適切な苦情解決に向けての体制を整えています。

これまで同様に、ケアプラザ内に「ご意見箱」を設置するとともに、各事業においてお客様アンケートも行いました。その結果や回答については、掲示板や広報誌にて公表しました。

また、職員全体を対象とした「接遇マナー研修」も実施しました。法人本部において、法人内全施設で受け付けたご意見、苦情等を分析し、情報共有しました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

ケアプラザの各事業を運営していくには、救急や事故、災害、情報セキュリティなど、様々な場面で迅速な対応が必要となるため、いつでも誰でも関係先への連絡や対応ができるように手順を一冊にまとめています。法人全体でも、防災マニュアルやBCP（事業継続計画）の整備を行いました。それらに基づき、地震・火災等の災害時に備え、年6回の避難訓練を実施し、戸塚消防署吉田出張所と地域の消防団に依頼して、AEDと初期消火訓練も行いました。

また地域の一員として、地域の拠点防災訓練にも参加しました。

福祉避難所としては、応急備蓄物資の数量や保管状態の確認を行い、災害時に有効に活用できる体制を整えました。

(5) 事故防止への取組について

ヒヤリハットや事故事例の検討により、事故の未然防止に努めました。また法人本部に毎月事故報告が集約される仕組みができており、その内容を各施設での会議等で周知しました。また、通所介護においては、事故防止の研修や勉強会を定期的で開催しました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

法人の個人情報保護規程で基本的な事項を定め、研修等で周知徹底を図りました。FAXの誤送信や郵送の誤送付の防止については、ダブルチェック体制をとり、細心の注意を払いました。広報等において、個人が特定される記載については、必ず書面及び口頭で同意をいただいでから掲載しました。また個人情報保護の重要性については、新人のみならず、現任職員に対しても、日々のミーティングや研修等において周知徹底しました。

(7) 情報公開への取組について

ケアプラザにおいて情報開示請求があった場合は、法人で定められた情報公開規程に則り対応することとなっています（30年度の開示請求実績はなし）。またパンフレットやホームページ等を通じて、当法人の情報や各事業に関する情報などを広く公開しています。

(8) 人権啓発への取組について

当法人では、30年度も人権に関する研修を行ないました。また、職場においても、人権に関する研修を開催するとともに、お客様お一人おひとりの立場や価値観について、丁寧に確認しながら業務を行いました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

30年度も省エネルギーやごみの減量化などを推進するとともに、節電・節水に努めました。また太陽光パネルの設置施設でもあるため、緊急時の電力供給の他、平時の省エネにも活用させていただきました。

送迎等に用いている車両については、アイドリングストップを励行しました。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

保健師（管理者）1名、社会福祉士2名、主任ケアマネジャー1名、介護支援専門員3名（非常勤専任1名・非常勤兼務2名）

《目標に対する成果等》

お一人おひとりの心身の状態や環境に応じて、お客様と計画作成担当者がともに目標に向けて取り組むことを大切にし、きめ細やかに対応しました。その中で、日常生活支援・総合事業や地域のインフォーマルサービス等の把握に努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

介護保険制度のみに頼らない地域の力（インフォーマルサービス等）を活かした介護予防プランを作成しました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
155	167	181	182	177	178
10月	11月	12月	1月	2月	3月
180	191	183	188	188	196

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

主任ケアマネジャー（管理者）1名、ケアマネジャー4名（常勤専任2名、非常勤兼務2名）

《目標に対する成果等》

地域ケアプラザの居宅介護支援事業所として、地域の社会資源（インフォーマルサービス含む）とも連携したケアプランの作成を行いました。また地域包括支援センターと密に連携し、地域ケア会議などを通じてお客様の住む町の強みを把握しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

特定事業所として24時間連絡がとれる体制となっています。また法人内での研修体制も整備されており、適切で質の高いケアプランを作成しました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
139	136.5	137.5	135	132.5	131
10月	11月	12月	1月	2月	3月
131.5	130.5	129.5	125	122.5	125.5

● 通所介護

《提供するサービス内容》

通所介護計画書等の作成、生活相談、移動や排泄等の介護サービス、健康状態の確認、送迎、食事、入浴、個別機能訓練、口腔機能向上等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1） 662円

（要介護2） 782円

（要介護3） 905円

（要介護4） 1,030円

（要介護5） 1,154円

● 食費負担 700円

● 入浴介助加算 54円 ● 個別機能訓練加算 60円 ● 口腔機能訓練加算 161円

● サービス提供体制加算（Ⅱ）7円

● 介護職員処遇改善加算（Ⅰ）1か月のご利用単位数の1000分の59に相当する額

《事業実施日数》 週 6日

《提供時間》 9:10～ 16:15

《職員体制》

管理者1名（常勤兼務）、生活相談員4名（常勤兼務）、看護職員6名（非常勤兼務）、介護職員22名（常勤兼務1名、非常勤兼務21名）、調理員5名（非常勤兼務）、運転手7名（非常勤兼務）

《目標に対する成果等》

地域の皆様にご協力いただき、お客様が選択できるようなサークル活動を活発に行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

トレーニングマシンを活用した機能訓練、認知症予防のプログラム、各種サークル活動の充実、バランスのとれた手作りの食事、自然に恵まれた広い庭での歩行訓練等を実施してお客様のニーズに応えました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
654	719	738	732	779	772
10月	11月	12月	1月	2月	3月
839	754	692	628	640	664

● 介護予防通所介護（横浜市独自サービス）

《提供するサービス内容》

介護予防通所介護計画書等の作成、生活相談、移動や排泄等の介護サービス、健康状態の確認、送迎、食事、入浴、運動器機能向上、口腔機能向上等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分※月額

（事業対象者） 1,766円

（要支援1） 1,766円

（要支援2） 3,621円

● 食費負担 700円

● 運動器機能訓練加算 242円 ● 口腔機能訓練加算 161円

● サービス提供体制加算（Ⅱ）要支援1 26円 要支援2 52円

● 介護職員処遇改善加算（Ⅰ）1か月のご利用単位数の1000分の59に相当する額

《事業実施日数》 週 6日

《提供時間》 9:10～16:15

《職員体制》

管理者1名（常勤兼務）、生活相談員4名（常勤兼務）、看護職員6名（非常勤兼務）、介護職員22名（常勤兼務1名、非常勤兼務21名）、調理員5名（非常勤兼務）、運転手7名（非常勤兼務）

《目標に対する成果等》

お客様満足度の高い自立に向けたサービスを提供しました。「いつでも社会の一員としてその人らしく」お暮しいただくために支援しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

トレーニングマシンを活用した機能訓練、各種サークル活動等の充実、バランスのとれた手作りの食事、自然に恵まれた広い庭での歩行訓練等を実施してお客様のニーズに応えました。

《利用者実績（述べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
145	154	141	138	154	138
10月	11月	12月	1月	2月	3月
158	139	131	132	139	151

● 認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

認知症対応型通所介護計画書等の作成、生活相談、機能訓練、移動や排泄等の介護サービス、健康状態の確認、送迎、食事、口腔機能向上等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（事業対象者） 1,072 円

（要支援1） 1,188 円

（要支援2） 1,305 円

● 食費負担 1,539 円

● 個別機能訓練加算 30 円 ● 口腔機能訓練加算 164 円 ● 入浴介助加算 55 円

● サービス提供体制加算（I） 13 円

● 介護職員処遇改善加算（I）1か月のご利用単位数の1000分の104に相当する額

《事業実施日数》 週 6日

《提供時間》 9：45～16：50

《職員体制》

管理者1名（常勤兼務）、生活相談員4名（常勤兼務）、看護職員6名（非常勤兼務）、介護職員22名（常勤兼務1名、非常勤兼務21名）、調理員5名（非常勤兼務）、運転手7名（非常勤兼務）

《目標に対する成果等》

個別計画に基づいた機能訓練と、認知症のお客様お一人おひとりのペースに合わせたサービス提供を行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

認知症に対応した様々なプログラムや少人数ならではの生活機能訓練が充実しています。

《利用者実績（述べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
194	194	174	178	160	162
10月	11月	12月	1月	2月	3月
158	148	163	151	155	179

平成30年度「横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)<地域活動>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,345,299		15,345,299	14,975,817	369,482	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当 事業			0	89,300	△ 89,300	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	332,397		7,050	218,500	△ 211,450	
印刷代	7,050		7,050	7,060	△ 10	
自動販売機手数料			0	0	0	この列は入力しない
駐車場利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
その他(指定管理料充当)			0	211,440	△ 211,440	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)			0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)			0	0	0	
収入合計	15,677,696	0	15,352,349	15,283,617	68,732	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,722,305		11,722,305	11,400,868	321,437	
本俸	10,161,660		10,161,660	7,929,447	2,232,213	
社会保険料	1,182,660		1,182,660	1,185,387	△ 2,727	
手当計	0		0	1,924,978	△ 1,924,978	
健康診断費	63,801		63,801	41,800	22,001	
勤労者福祉共済掛金	8,256		8,256	8,256	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	305,928		305,928	305,938	△ 10	
その他	0		0	5,062	△ 5,062	
事務費	1,325,746		1,325,746	1,199,561	105,257	
旅費	13,112		13,112	18,367	△ 5,255	
消耗品費	147,563		147,563	146,069	1,494	
会議随時費	20,000		20,000	0	20,000	
印刷製本費	481,806		481,806	246,762	235,044	
通信費	334,546		334,546	342,513	△ 7,967	
使用料及び賃借料	0		0	0	△ 20,928	
横浜市への支払分			0	20,928	△ 20,928	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	6,810		6,810	23,889	△ 17,079	
職員等研修費	10,527		10,527	4,010	6,517	
振込手数料	46,386		46,386	42,033	4,353	
リース料	0		0	50,452	△ 50,452	
手数料	0		0	216	△ 216	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	264,996		264,996	325,250	△ 60,254	
事業費	1,982,000		1,982,000	301,612	1,680,388	
運営協議会経費	42,000		42,000	42,000	0	予算：指定額
指定管理料充当 事業	1,940,000		1,940,000	259,612	1,680,388	
管理費	3,247,760		3,247,760	5,311,262	△ 4,572,710	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算：指定額
光熱水費	2,509,208		2,509,208	3,102,851	△ 3,102,851	
電気料金	802,947	0	802,947	992,912	△ 992,912	
ガス料金	752,762	0	752,762	930,855	△ 930,855	
水道料金	953,499	0	953,499	1,179,083	△ 1,179,083	
清掃費	0		0	74,286	△ 74,286	
修繕費	474,000		474,000	474,000	0	予算：指定額
機械整備費	116,112		116,112	116,104	8	
設備保全費	148,440		148,440	832,524	△ 684,084	
空調衛生設備保守	0		0	228,445	△ 228,445	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	77,412		77,412	77,403	9	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	71,028		71,028	526,676	△ 455,648	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	711,497	△ 711,497	
公租公課	958,834		958,834	912,069	46,765	
事業所税	0		0	0	0	この列は入力しない
消費税	958,834		958,834	912,069	46,765	
印紙税	0		0	0	0	この列は入力しない
その他()	0		0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分	0		0	0	0	この列は入力しない
当該施設分	0		0	0	0	この列は入力しない
リース対応費	0		0	0	0	この列は入力しない
支出合計	19,236,645	0	15,988,885	19,125,372	△ 2,418,863	
差引	△ 3,558,949	0	△ 636,536	△ 3,841,755	2,487,595	

自主事業費収入						
自主事業費支出						
自主事業収支	0	0	0	0	0	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ」

収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	28,982,000		28,982,000	28,929,782	52,218	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当事業(包括)			0	0	0	
指定管理料充当事業(介護予防)			0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)			0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	
雑入	0	0	0	4,863	△ 4,863	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他(指定管理充当分)			0	4,863	△ 4,863	
その他(提案時控除 法人負担分)			0	0	0	
収入合計	34,922,000	0	34,922,000	34,874,645	47,355	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	32,637,465		32,637,465	32,223,582	413,883	
本俸	27,369,000		27,369,000	17,372,328	9,996,672	
社会保険料	4,453,356		4,453,356	4,315,639	137,717	
手当計	0		0	9,731,506	△ 9,731,506	
健康診断費	63,801		63,801	47,352	16,449	
勤労者福祉共済掛金	33,756		33,756	33,756	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	717,552		717,552	717,563	△ 11	
その他	0		0	5,438	△ 5,438	
事務費	1,061,711		1,061,711	1,046,435	15,276	
旅費	49,320		49,320	38,080	11,240	
消耗品費	202,340		202,340	71,048	131,292	
会議諸費	0		0	0	0	
印刷製本費	76,784		76,784	117,955	△ 41,171	
通信費	237,562		237,562	241,175	△ 3,613	
使用料及び賃借料	0		0	720	△ 720	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	720	△ 720	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	63,768		63,768	23,889	39,879	
職員等研修費	51,286		51,286	41,534	9,752	
振込手数料	46,386		46,386	42,406	3,980	
リース料	62,340		62,340	50,464	11,876	
手数料	9,653		9,653	0	9,653	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	262,272		262,272	419,164	△ 156,892	
事業費	939,000		939,000	831,504	107,496	
協力医	630,000		630,000	525,000	105,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	0		0	25,431	△ 25,431	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	164,898	△ 164,898	
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	116,175	192,825	予算:指定額
管理費	1,099,350		1,099,350	1,681,343	△ 581,993	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	602,210		602,210	824,808	△ 222,598	
電気料金	192,707	0	192,707	263,939	△ 71,232	
ガス料金	180,663	0	180,663	247,442	△ 66,779	
水道料金	228,840	0	228,840	313,427	△ 84,587	
清掃費	0		0	19,746	△ 19,746	
修繕費	126,000		126,000	27,782	98,218	予算:指定額
機械警備費	30,864		30,864	30,863	1	
設備保全費	39,420		39,420	362,162	△ 322,742	
空調衛生設備保守	0		0	60,725	△ 60,725	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	20,568		20,568	20,575	△ 7	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	18,852		18,852	280,862	△ 262,010	
共益費	0		0	0	0	
その他	300,856		300,856	415,982	△ 115,126	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他()			0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	35,737,526	0	35,737,526	35,782,864	△ 45,338	
差引	△ 815,526	0	△ 815,526	△ 908,219	92,693	

自主事業費収入						
自主事業費支出						
自主事業収支	0			0		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入				0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出				0		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				0		

平成 30年度 横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:舞岡柏尾地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日
(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護			認知症通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	3824	4460	-636	24948	24216	732	62356	68288	-5932	8419	8428	-9	37096	31038	6058
	その他	6338	5969	369	291	1322	-1031	27331	17666	9665	1349	1115	234	1845	1387	458
	介護予防ケアマネジメント費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入	5027	5969	-942	0	0	0	8667	9563	-896	1349	1115	234	1845	1387	458
	その他	1311	0	1311	291	1322	-1031	18664	8103	10561						
	収入合計(A)	10162	10429	-267	25239	25538	-299	89687	85954	3733	9768	9543	225	38941	32425	6516
支出	人件費	3624	4704	-1080	22594	22405	189	67834	68864	-1030	0	0	0	21865	19909	1956
	事務費	5960	6206	-246	1884	1918	-34	9293	7127	2166	0	0	0	1679	1588	91
	事業費	0	0	0	66	53	13	9222	9342	-120	0	0	0	2343	2074	269
	管理費	0	0	0	0	0	0	6378	6524	-146	0	0	0	1615	1382	233
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消費税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護予防プラン委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0														
	支出合計(B)	9584	10910	-1326	24544	24376	168	92727	91857	870	0	0	0	27502	24953	2549
	収支 (A)-(B)	578	-481	1059	695	1162	-467	-3040	-5903	2863	9768	9543	225	11439	7472	3967

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ふれあいサロン	高齢者	101584	地活	43284	58300	0	3341	57353	40890
	40		包括						
	100-300		介護						
			生活						
歌声サロン～童国会～	高齢者	64711	地活	19711	45000	0	50092	7239	7380
	40		包括						
	100-200		介護						
			生活						
舞クラス	保護者、地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	20		包括						
	-		介護						
			生活						
あったまり場	障がい者、地域住民	46100	地活	46100	0	0	11137	33363	1600
	20		包括						
	-		介護						
			生活						
施設交流会	地域住民	240	地活	240	0	0	0	0	240
	-		包括						
	-		介護						
			生活						
まいまいクラブ	未就園児と保護者	31889	地活	20089	11800	0	17478	8111	6300
	30組程度		包括						
	0-300円		介護						
			生活						
ベビーマッサージ	乳幼児、養育者	4734	地活	1234	3500	0	4454	0	280
	7組		包括						
	500円		介護						
			生活						
0歳からの絵本講座	乳幼児、養育者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	10組		包括						
	-		介護						
			生活						
おもちゃの広場	未就学児と保護者	5560	地活	4360	1200	0	5000	560	0
	20組		包括						
	100		介護						
			生活						
学び場☆舞柏	小学生	36820	地活	20520	16300	0	20000	16000	820
	20組程度		包括						
	300-500		介護						
			生活						
マイお箸を作ってみよう!	3歳～小学生	22000	地活	0	22000	0	0	22000	0
	25組程度		包括						
	1000		介護						
			生活						
夏休み研究ルーム	小学生	3649	地活	3649	0	0	0	3409	240
	15人程度		包括						
			介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
舞柏ケアプラザまつり	地域住民	58580	地活	41580	0	17000	0	12222	46358
	-		包括						
	-		介護						
			生活						
おとなの趣味講座	成人	76476	地活	47376	29100	0	63471	8007	4998
	12人程度		包括						
	300		介護						
			生活						
パパまいまい	乳幼児、父親、祖父母	17085	地活	9985	7100	0	0	14405	2680
	10組程度		包括						
	100-1000		介護						
			生活						
ボランティア交流会	地域住民	13274	地活	13274	0	0	0	12634	640
	-		包括						
	-		介護						
			生活						
草取りボランティア	地域住民	32912	地活	32912	0	0	0	8732	24180
	-		包括						
	-		介護						
			生活						
調理連絡会	調理団体	1398	地活	1398	0	0	0	1398	0
	-		包括						
	-		介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業報告書

横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ふれあいサロン	概ね65歳以上の方を対象にしたサロン。月替わりにイベントを実施し、地域住民同士の交流、つながりづくりを図った。昨年度好評だった明治学院大学、舞岡小学校との交流を引き続き実施。	毎月第4木曜日 (全12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌声サロン ～童唱会～	概ね65歳以上の方を対象としたサロン。皆で集り、歌を通して地域住民同士の交流を図った。また声を出して歌うことで介護予防も目的にしている。 前半は唱歌や童謡を合唱し、後半は講師による演奏会や地域団体の音楽鑑賞を行った。貸館の音楽サークルの発表の場としても機能した。今年度はボランティアの方から要望があった団体（#0：シャープゼロ）に依頼をし、大好評であった。	毎月第1水曜日 (全12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
舞クラス	昨年度のアンケート結果をもとに、講演会、施設や企業の見学会、保護者会を実施した。講演会では地域の民生委員や興味のある方の参加があり、普及啓発につながった。保護者会では高校にあがられた先輩の保護者の方に参加していただき、進路や就職準備等について生の声を聞くことが出来た。	原則第2木曜日 (全9回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あったまり場	精神障がい者や引きこもりの方の外出、活動の機会を提供することを目的として、フリースペースを運営した。その日の参加者の希望や体調に合わせて、主にカードゲームや茶話会を実施。やまぶき工房のメンバーさんや包括に相談されている方、広報誌を見て興味をもたれた方などが参加されている。	毎月第3火曜日 (全12回)

平成30年度 自主事業報告書

横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
施設交流会	例年通りカレーとkahoさんコンサート、芋煮会、AED講習会を実施。昨年度の希望を踏まえてAED講習会では消防署で定められた「救命入門コース」を受講し、好評であった。また、地域とのかかわりの面で、広く地域の希望する方も募り一緒に受講したことで施設交流会の意義があった。	8、11、2月 (全3回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
まいまいクラブ	親と子のふれあい、親同士の情報交換、仲間づくりなどの場を提供した。子育て支援事業への参加案内等も行い、子育てに関する情報発信の場とした。 偶数月にはイベント（親子ヨガ、リトミック等）を行い、奇数月は自由遊びと読み聞かせを行った。昨年度に比べて参加者数が増加。	原則毎月第1木曜日 (全12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ベビーマッサージ	ベビーマッサージ講習と茶話会を実施。同じくらいの月齢の子を持つ親が集まり、共通の話題から交流が生まれていた。交流会では、ケアプラザや地域で行っている子育て事業についてお知らせし、周知することができた。また、1週間違いで同じ0才児向けの絵本講座を実施したため、両方の講座に出ている方はより交流を深めることが出来ていた。その後ケアプラザの自主事業につながった方が2.3組いらした。	9月 (全1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
0歳からの絵本講座	自己紹介から始まり、わらべ歌、絵本の紹介、読み聞かせのポイントを伝達。最後は親子で読み聞かせを實踐して絵本をプレゼントして終了した。同じくらいの月齢の子を持つ親が集まり、共通の話題から交流が生まれていた。絵本のプレゼントがあったこともあり、普段ケアプラザを利用していない方の参加もあった。その後「まいまいクラブ」や「ほっとタイム」の利用につながった。	9月 (全1回)

平成30年度 自主事業報告書

横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おもちゃの広場	昨年度と場所を変えてケアプラザで実施した。その結果、過去にパパまいまいに参加されたお父さんや数日前にケアプラザにふらっと見学に来られた方などが参加して下さった。お父さんは4名参加して下さり、お父さん同士の交流もあった。期待していた祖父母の参加も1名だけがあった。また、開催時間も昨年度より長く時間を取り、途中の入退場自由にしたところ、当日のお子さんの様子に合わせて遊ぶことが出来ていたようだった。（寝てしまったら帰る、たくさんあそびたいお子さんは最後までじっくり遊ぶなど）	2月 (全1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
学び場☆舞柏	万華鏡、プロペラカー、革細工（タペストリー）作りを実施。今年度新しく、講師に「日立理科クラブ」の皆さんが加わった。日ごろから貸館を利用している方がメンバーにいらっしゃる為より身近な講師として世代間交流を行うことができた。革細工体験教室では、「やまぶき工房に日ごろから立ち寄ってもいいのですか？」といった質問があがるなど地域の施設と近隣住民との交流も出来た。	7, 8, 1月 (全3回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
マイお箸を作ってみよう！	箸作り体験の後、箸の歴史、持ち方についての講義を実施。体験ではボランティアの方のサポートもあり、皆さん難なく完成させることが出来ていた。焼付けの部分は保護者の方が熱中しておこなっていた。後半の講義では中学年以下のお子さんは少々つまらなそうであったが、高学年のお子さんは自由研究用に熱心に聞いていた。正しい箸の持ち方をするための体操では、未就学のお子さんも一緒に楽しんでた。保護者の方も勉強になった、と満足して帰られる方が多かった。	8月 (年1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み研究ルーム	地域のボランティアが先生となり、小学生へバルーンアートとアクリルたわし作りを教えた。小学生の参加人数が少なかったが、地域の小学生と地域に住む大人とが手芸やバルーンアートを通してつながることが出来た。これまでケアプラザとの関わりが薄かったアクリルたわしボランティアさんとのつながりが出来た。また、そこから手芸サークルがあるといい、といったニーズを知ることが出来た。	7, 8月 (全4回)

平成30年度 自主事業報告書

横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
舞柏ケアプラザ まつり	地域の自治会や事業所の協力のもと、展示や体験、出店、コンサートブースを開設。ボランティアさん、企画委員とともに各ブースに分かれて進行を補助した。最後には昨年に引き続き抽選会を実施。抽選券回収方法を工夫したり人員を増員したことにより混乱無くスムーズに実施することが出来た。まつり終了後にボランティア登録をされた女性が1名いらっしゃった。ケアプラザまつりのような単発のイベントなどのお手伝いをしたいとのこと。	6月 (全1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おとなの趣味講座	写真とウォーキングの会とウクレレ教室を実施。いずれも地域の方に講師になっていただき、地域内での教えあいの形が出来た。ウクレレ教室では新たな利用者の呼び込みにつながった。また、自主サークル化したことで参加者から自主的に「ボランティア活動をやりたい」という声があった。(デイサービスでの演奏会や「まいまいクラブ」での演奏など)	フォトウォーク舞柏 5, 11月 (全2回) おとなのウクレレ教室 10月～1月 (全8回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パパまいまい	母の日クッキー作りと親子うどん打ち教室を実施。講座への参加をきっかけに、ケアプラザまつりや他の事業への参加にもつながった。また、普段お母さんとはかかわりが無かった家庭のお父さんともかかわりを持つきっかけになった。	5月、12月 (全2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	ボランティア同士の交流を広げることを目的として、初めてケアプラザ以外の周辺地域で活躍しているボランティアさんや施設職員の方をお招きし、交流を行った。グループワークやゲーム、茶話会を通して、活動場所を越えた交流を行うことが出来た。両者にとって有意義な情報交換がなされていた。新たな活動場所を探しているボランティアさんと施設の職員との交流ができ、今後につながる兆しがあった。	11月 (全1回)

平成30年度 自主事業報告書

横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
草取りボランティア	貸館登録団体の福祉保険活動の場として、敷地内の草取りを実施。終了後は貸館登録団体である「舞柏亭」さんにごちそうを振舞っていただいた。今年度は積極的な呼びかけをしなくても参加者が多く集まった。草取りボランティアがボランティアの機会として定着してきていると思われる。作業中やうどんのふるまい中など、参加者同士の交流が行われていた。	5月、10月 (全2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
調理連絡会	普段使っている調理器具の点検をするとともに、普段は別々に活動されている調理団体同士の親睦を図るための茶話会を実施。毎年恒例行事となり、参加者の皆さん自ら役割を分担して清掃をされていた。茶話会では、活動に当たったの悩み事を相談しあう場面があった。また、ある団体からは家計簿のつけ方を教えるボランティアをしたいとの提案をいただいた。	3月 (全1回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成30年度 自主事業報告書

横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
あおぞら会	地域住民	11346	地活	1143	10203	0	0	7346	4000
	-		包括						
	50円		介護						
			生活						
いきいきシニア講座	地域住民(主に南舞岡)	0	地活	0	0	0	0	0	0
	-		包括						
	-		介護						
			生活						
介護者のつどい	介護をされている方など	867	地活	867	0	0	0	0	867
	-		包括						
	-		介護						
			生活						
エンジョイまいか塾	地域住民	13117	地活	13117	精算書だと13677 円?		11341	1776	
			包括						
			介護						
			生活						
ホッとサロン		2104	地活	2104				2104	
			包括						
			介護						
			生活						
居宅支援事業所連絡会		7097	地活	7097			3341	3756	
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業報告書

横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
あおぞら会	スリーA方式（明るく・頭を使って・あきらめない）を取り入れた認知症予防教室を実施。地域の高齢者に対して定期的な外出と他者との交流の場を提供した。 地域のボランティアが中心となり、体操やゲーム、太鼓の演奏などに挑戦し、太鼓と竹の演奏はケアプラザまつりや地区センター歌声まつり、デイサービスで披露した。また30年度は外部講師を招いて音楽療法も取り入れた。	24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いきいきシニア講座	終活や権利擁護に関する啓蒙・啓発活動を行うことを目的に外部講師による講座を2回シリーズで実施。 1回目はファイナンシャルプランナーによる老後の資金講座、2回目は戸塚警察生活安全課による防犯講話を行った。	①11月15日 ②11月29日 全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい（ふきのとう）	介護者同士による交流や情報交換の場を提供するために実施。 30年度は新たな取り組みとして、福祉用具専門相談員による「最新の福祉用具と住宅改修」講座、介護老人保健施設療養長による「アロマでくつろぎのハンドマッサージ体験」を行った。	奇数月第2火曜日 全6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
エンジョイまいか塾	地域の講師を迎え、介護保険や生活支援、介護予防等についての必要な知識を提供していく。「シルバー人材センター」「遺言と家族信託」「お葬式」「いきいきはつらつ転倒しない身体づくり」「口腔フレイル予防講座」「認知症サポーター養成講座」を行った。	奇数月の第2月曜日の6回と地域にて2回の計8回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ホッとサロン	ケアマネジャーの情報提供や研修、交流の場として開催。 インシデントプロセス法を利用した事例検討会を行い、 アセスメント力・マネジメント力をつけていった。	4月25日 6月18日 11月26日 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
居宅支援事業所 連絡会	ケアマネジャーと民生委員のネットワーク構築、地域資源 の開発を目的として、地域の司法書士を講師に迎え、任意 後見について学び、その後地域の情報交換を行った。	2月28日

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
健康づくりまいかし	高齢者	55,374	地活	55,374			29,978	19,796	5,600
	20名		包括						
	無料		介護						
			生活						
体操リーダー育成講座	高齢者(レク指導者)	9,817	地活	9,817			3,932	3,645	2,240
	20名		包括						
	無料		介護						
			生活						
園芸療法	高齢者	35,422	地活	22,622	12,800		17,819	17,043	560
	16名		包括						
	800円		介護						
			生活						
開運さんぽ	高齢者	7,447	地活	7,447				6,887	560
	15名		包括						
	無料		介護						
			生活						
野菜とリースの薬膳ランチ	高齢者	27,904	地活	16,804	11,100		3,341	24,203	360
	15名		包括						
	リース700円		介護						
	薬膳ランチ500円		生活						
コグニサイズ	高齢者	32,134	地活	32,134			20,000	9,514	2,620
	20名		包括						
	無料		介護						
			生活						
はまちゃん体操くらぶ	高齢者	6,992	地活	6,992			6,432		560
	20名		包括						
	無料		介護						
			生活						
サロン柏舞	高齢者	13,708	地活	13,708			8,909		4,799
	20名		包括						
	100円		介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業報告書

横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健康づくりまいかし	有酸素運動は、脳を活性化させる活動であり、認知症予防にも効果的であることから、健康づくり、介護予防をねらいとして実施している。	全10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
体操リーダー育成講座	地域で介護予防を推進していくためには、リーダー的に健康づくりを行う人材育成が不可欠である。継続して活動するボランティアの資質向上を図り、活動を活性化させていくことや地域のグループ支援を目的として実施している。	全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
園芸療法	花や緑などの植物や土に触れ、外に出て体を動かすことは、健康づくり、介護予防にもつながる。また自然に親しむことは、心身の癒しにもつながることから、園芸療法としても注目されている。地域ケアプラザに来たことのない参加者の獲得も狙いとして開催した。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
開運さんぽ	有酸素運動での健康づくり、介護予防をねらいとして開催した。新春企画として、大船観音寺、田谷の洞窟（定泉寺）をめぐる、参加者同士の交流も目的とした。	1回

平成30年度 自主事業報告書

横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
野菜とリースの薬膳ランチ（生活支援と共催）	参加を通じて、介護予防を行うことも目的とする。 1回目は、クレイクラフトで手先と頭を使って、脳を活性化 する。 2回目は、管理栄養士を講師に迎え、身近な材料で簡単な薬 膳ランチを作り、体の中から、寒さに負けない体作りをす る。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コグニサイズ	上柏尾町内会館と舞岡第2町内会館に、コグニサイズの講師 を派遣。	2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はまちゃん体操 くらぶ	地域で自主的に活動している「はまちゃん体操ラブ」に、 講師を派遣。セラバンド、ソフティボールを使った体操の 紹介。	1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サロン柏舞	地域のサロン内で行う口腔機能向上の講座で講師を派遣 （エリア内の歯科医師）。	1回

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
あおぞら会(包括と共催)	地域住民	11341	地活	1139	10202	0	0	7341	4000
	-		包括						
	50円		介護						
			生活						
ボランティア入門講座 おとなのバルーンアート 入門	地域住民	15118	地活	9518	5600	0	0	14558	560
	15		包括						
	200円		介護						
			生活						
男の教室	地域住民	70224	地活	37224	33000	0	13363	41601	15260
	15		包括						
	500円		介護						
			生活						
男性の地域デビューを考 える会	地域住民	2778	地活	2778	0	0	0	2122	656
			包括						
	無料		介護						
			生活						
よこはまシニアボランティ アポイント登録研修会	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	10		包括						
	無料		介護						
			生活						
野菜のリースと簡単薬膳 ランチ (介護予防事業と共催)	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	15		包括						
	①700円 ②500円		介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業報告書

横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
あおぞら会(包括と共催)	スリーA方式(明るく・頭を使って・あきらめない)を取り入れた認知症予防教室を実施。地域の高齢者に対して定期的な外出と他者との交流の場を提供した。地域のボランティアが中心となり、体操やゲーム、太鼓の演奏などに挑戦し、太鼓と竹の演奏はケアプラザまつりや地区センター歌声まつり、デイサービスで披露した。また30年度は外部講師を招いて音楽療法も取り入れた。	24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア入門講座 おとなのバルーンアート入門	簡単なバルーンアートを学び、地域でのボランティアデビューのきっかけを作る。また同時に、手指を使い、行程を考えて制作することで脳活性化を計る。連続の講座として行うことで複数回の参加を促し簡単な作品を作れるようにする。また、これまでケアプラを利用することの無かった層への参加も期待する。	4/19、25、5/9、21 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男の教室	定年退職後の男性を対象に、引きこもりを防止し、地域住民として新たな関係作りをしていく。各種講座で既存のボランティア団体の方との交流を図り将来的には活動の参加に繋げていきたい。	7月～12月 月1回 計6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性の地域デビューを考える会	①「男の教室」修了者の有志を対象とし、やりがいを持ち、役目を担える交流や活動の場を提供する。 ②メンバーと協働し本年度の講座(男の教室)を企画・運営する。	定例会 月1回 その他

平成30年度 自主事業報告書

横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	元気な高齢者がボランティア活動に参加することで、健康維持と介護予防、社会参加や地域貢献を通じ「生きがい作り」「仲間作り」を推進するためのきっかけを提供する。また、現在ボランティア活動をしており、シニアボランティアポイントに登録されていない方に、身近な施設で登録できるの勉強会の場を設ける。	11月、3月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
野菜のリースと簡単薬膳ランチ (介護予防事業と共催)	参加を通じて、介護予防を行うことも目的とする。 1回目は、クレイクラフトで手先と頭を使って、脳を活性化させる。 2回目は、管理栄養士を講師に迎え、身近な材料で簡単な薬膳ランチを作り、体の中から、寒さに負けない体作りをする。	1月 23日、30日 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数